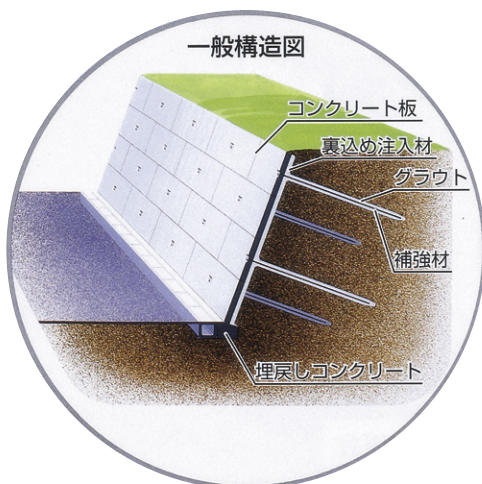


PAN WALL 工法



新しい急勾配斜面安定工法

PANWALLとは…

PAN (Panel And Nail) Wall工法は急勾配斜面安定工法の1つである切土補強土工法の理論に基づく工法です。補強材には従来から使用されている鋼棒を用いますが、表面保護工にはモルタル吹付けやコンクリート吹付けの代わりにコンクリート板を用い、現場作業量の低減と意匠デザインの多様化に対応します。

特長

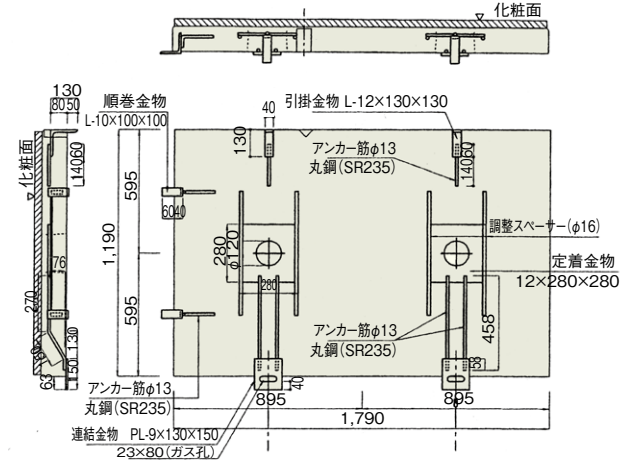
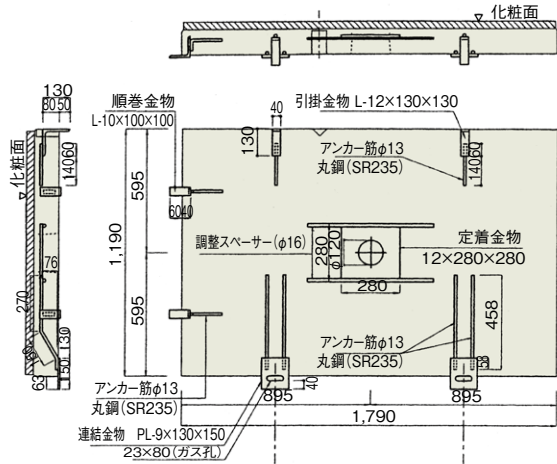
- 1 急勾配化(垂直~5分*)により、法面上下の有効な土地活用が可能 ※3分勾配を標準とする
- 2 逆巻き施工により、上部構造物の保護と施工中の地山のゆるみと崩壊事故を防止
- 3 表面工のプレキャスト化により、品質の向上と工期短縮・省力化が可能
- 4 高い耐久性とメンテナンスフリーにより、長期的なライフサイクルコストを低減
- 5 表面工及び補強材の高い強度により、優れた耐震性を実現
- 6 プレキャスト板の擬岩模様により、景観に配慮

パネル寸法図

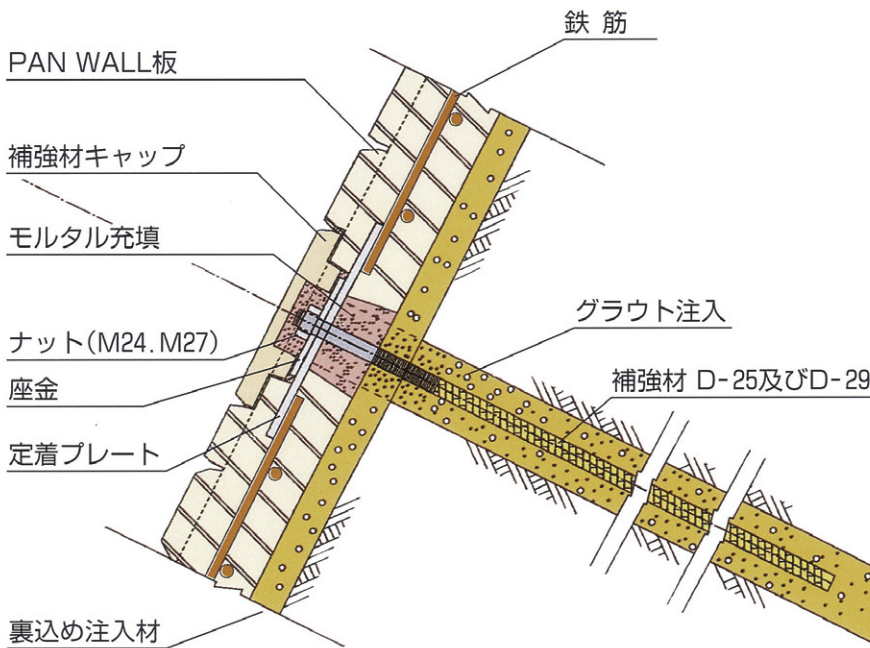
(単位:mm)

S TYPE (1穴)

D TYPE (2穴)

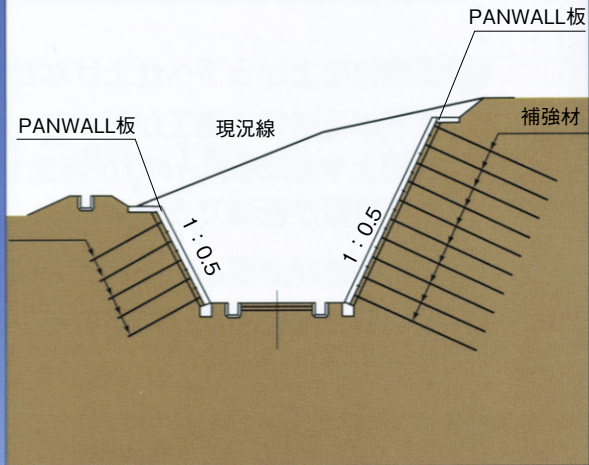


定着部(詳細図)

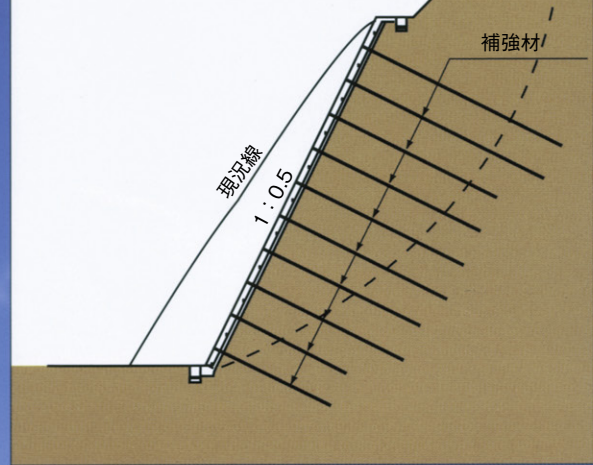


実用新案登録 第3007333号

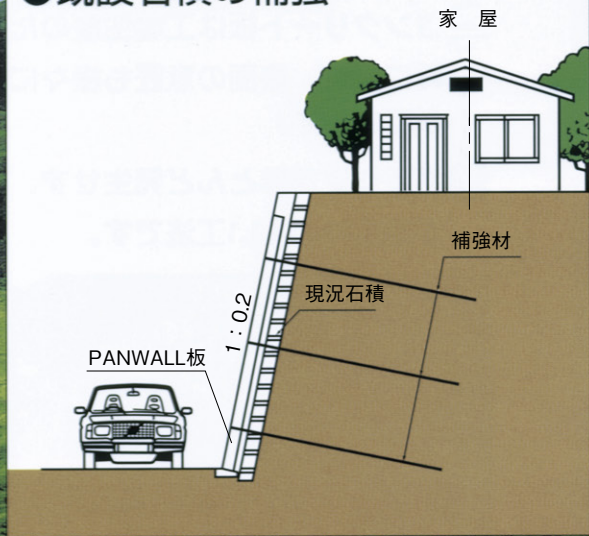
●土留擁壁の代替工法



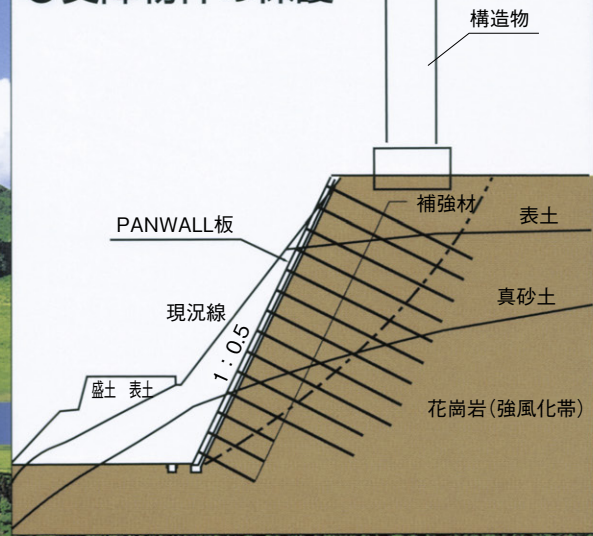
●自然法面の補強



●既設石積の補強



●支障物件の保護



取扱地域 北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所(P488)にお問い合わせください。

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

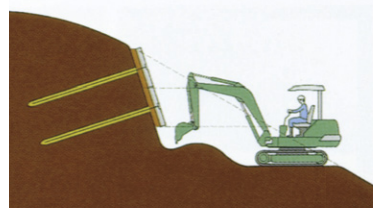
通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新素材

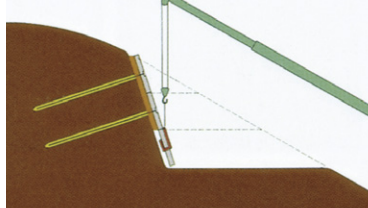
参考資料

施工手順



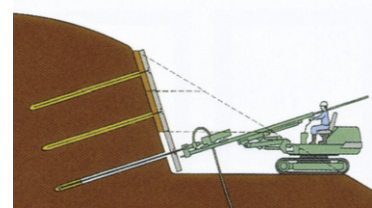
1 掘削・法面整形

バックホーにて、パネル1枚分(約1.2m~1.3m)掘削します。その後透水材をセットします。



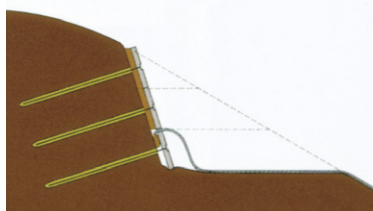
2 コンクリート板据え付

専用の吊具を使用して、所定の位置にコンクリート板をセットします。



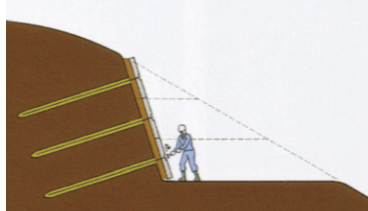
3 補強材打設・グラウト

ロータリーパーカッション等を使用して削孔し、補強材を挿入した後、グラウト注入を行います。



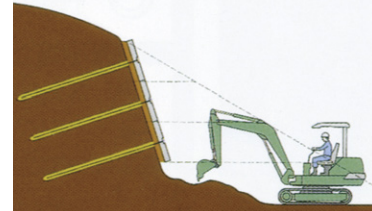
4 裏込め注入

コンクリート板と地山との隙間に、裏込め注入材を注入します。



5 補強材頭部定着

トルクレンチにより補強材頭部を定着し、その後にキャップを装着します。



6 次段掘削

次段以降は1~5の繰り返し作業となり最終段施工完了後に、埋め戻しコンクリートを施工します。